

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671300236
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地 (電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	令和3年1月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年2月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム百合砂の4つの理念のもと、入居者と職員が常に笑顔で過ごせる雰囲気作りに努め、ご家族とも普段から何でも話し合える関係作りに努めています。
地域行事に参加したり買い物やドライブに出掛け触れ合いや楽しみの時間を持てるとともに地域に開かれたグループホームを目指しています。
今年度は新型コロナウイルスの関係で様々な慰問や行事が中止となったり、面会制限もあつたりと楽しみの時間が減ってしまいましたが、ホーム内での時間を充実出来るよう支援してきました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、運営母体である社会福祉法人特別養護老人ホームと隣接しており、同法人の診療所・訪問看護ステーションからの往診や訪問看護が利用者や家族及び職員の医療面における大きな安心となっている。
- ・自治会に加入し、地域行事への参加や買い物等での地域との交流を日常的に行っていたが、コロナウイルス感染防止の為、自粛している。その中で、幼稚園児の七夕慰問を玄関前で実施し、利用者に喜ばれるように工夫し取り組んでいる。
- ・管理者・職員は、利用者に毎日を楽しんでもらえるよう室内レクリエーションや行事を工夫したり、利用者の自立支援と残存機能の保持に配慮したケアに取り組んでいる。
- ・管理者は研修受講の機会が多くなるよう法人に働きかけて、職員の資質向上を図っている。職員が働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>管理者、職員で理念を共有し理念に基づいた支援ができるよう努めています。</p>	<p>全職員で考えたホーム独自の理念があり、事務室・玄関・ホール・トイレなどの目につきやすい場所に掲示している。唱和を行い、ミーティング時には共有を図り、毎年、振り返りを行っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>今年は新型コロナウイルスの影響で参加が出来なかったり、行事が中止となる事が多く実現が難しいでした。</p>	<p>コロナ禍で行事の開催ができなかったが、自治会への加入は継続している。幼稚園児との交流を行ったり、自宅付近へドライブに行ったりしながら地域との交流に努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で地域の方々との交流や実習生の受け入れもできませんでした。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、運営の状況や入居者の状態を報告し委員の方から意見を頂きサービス向上に活かしています。(コロナの関係で1度開催を中止し資料送付にてご指摘・ご意見を頂きました)</p>	<p>定期的に会議を開催している。隣接の特別養護老人ホームの会議室等を利用したり書面を送付し、ヒヤリハットを含めた報告やコロナ対策への取り組みに関する報告等を行い、意見交換をしている。委員から台風対策で発電機等の設置についての意見が出されている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に市職員の方にも参加をしていただきアドバイスなどを頂きながら協力体制を築くよう取り組んでいます。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議での意見交換や報告に出向いたり電話での相談等を行い、日頃から連携を図っている。市等のオンライン研修会に参加する予定である。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の身体拘束防止委員会で毎月事例を持ち帰り、ホーム内で事例について話し合い意見交換をしながら理解を深めています</p>	<p>法人での委員会及び研修会に参加している。事業所内でも事例検討を行い理解を深めている。不適切な言葉はミーティング時に注意を促している。日中玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には付き添って散歩する等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃から虐待については、都度話し合う場を作ったり、ミーティング等で言葉遣いについて話し合ったりして虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人内の勉強会で権利擁護について学ぶ機会を持ち、知識を深められるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に詳しく説明をし、同意を得ています。疑問がある場合はその都度納得出来るまで説明して、不安がないように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段から何でも言える環境作りに努めています。直接言いにくい事は玄関窓口意見箱を設けて対応しています。</p>	<p>利用者からは日頃の会話の中で要望を聞いている。家族には、電話や窓越し面会時に意見を聞いている。訪問理美容の利用については家族に相談し対応している。可能な限り面会は柔軟に原則をまもりながら行っている。広報誌を発行し利用者の生き生きとした写真を掲載し家族から喜ばれ、そこから意見を聞き、運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング時に機会を設け意見交換を行ない反映できるよう努めています。	毎月のミーティング時に職員の意見を聞く機会を設けている。物品購入やケアに関する意見は早急に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に一回の自己評価を通じて職員個々の勤務態度や能力を把握し、また月一度の運営会議に参加し職場環境の整備、改善に努めて職員が向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での勉強会や、社協などが行う外部研修にも参加し、職員一人ひとりの技術・知識の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナウイルスの関係で同業者との交流の機会が持てませんでした。今後状況を見ながら交流ができたと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の情報収集を元に必要なニーズの把握に努めご本人の不安を解消出来るように努めています。スタッフ間でも情報共有しながら信頼関係を築くように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談時、ご家族と十分に話し合いを持ち、要望や不安な事等をお聞きしています。また入居後も面会時や電話等で日常の様子をお伝えし、ご家族も安心できるような関係性や雰囲気を作るように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者・ご家族との面談に十分に時間をかけて、ニーズへの対応を他のサービス利用も視野に対応出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と職員は同じ目線に立って、暮らしを共にする者同士として接しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月のお便りで入居者様の状態や運営の状況をお伝えしています。面会時やお電話等でご家族の意向を伺い、ご家族との絆を大切に支え合えるよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナウイルスの関係で外出等の制限もありましたが、できる限り出掛ける機会を設け関係が途切れないよう支援しています。</p>	<p>地域行事への参加は自粛の為、参加できなかった。自宅訪問や墓参り・近隣の散歩・馴染みの場所へのドライブなどを行い、関係継続が途切れないようにしている。電話やオンラインでの面会を行い、動画を配信したり様々な取り組みを模索中である。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様個々の性格なども踏まえ、お互いが思いやれる環境作りに努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了したご家族とも、外出時にお会いした時等は、気軽に声を掛けたり、困っていることがないか尋ねたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望や意向を尊重し、それにそった生活が送れるように支援しています。困難な場合はご家族にも相談しながら検討を行い支援できるよう努めています。	本人の希望や意向を、お茶の時間や食後のリラックスした時・夜間に聞いたりして、思いを把握している。職員はゆったりとした気分で話が聴けるように環境作りに配慮している。意思表示が困難な場合は、家族から情報収集し、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族、担当ケアマネを通じて生活歴や健康状態、利用状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムや過ごし方を把握し、したい事、出来る事に応じて無理なく一日を過ごして頂けるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングで意見交換をし、支援の仕方を考え現状に即した介護計画を作成しています。	本人や家族の意向を聞き、職員で担当者会議やミーティング時に意見交換し、介護計画を作成している。モニタリングを毎月実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に見直して現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々生活や変化が把握できるように具体的に記録し、変化があった場合などは職員間での情報共有に努め、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者のニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルスの影響で地域資源の活用はできませんでした。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の診療所が協力医療機関としてかかりつけ医になっており、入居者の変化や健康面での心配事がある場合相談しています。	契約時に本人・家族に確認し、協力医療機関をかかりつけ医に希望している。月2回の往診及び週1回の訪問看護を実施し、他科受診は職員が対応し結果を家族に報告している。緊急時はかかりつけ医の指示を受けて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員一人一人が個々の状態を把握し、訪問看護師等に報告・相談し適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には、職員が面会に赴き安心して頂けるよう配慮したり、病院関係者との情報共有に努めている。早期退院に向けて連携しながら体制を整えるようにしています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族の意向を伺い、主治医や医療関係者との連携のもと、全員で方針の共有に努めています。看取りについての指針や同意書も作成しています。	契約時に指針で説明し同意書をもらっており、大部分が看取り介護希望である。重度化の場合は、その都度説明し、家族の意向を確認している。主治医・訪問看護師・職員で検討しながらチームで支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急事態への対応の勉強会を法人内全体で実施したり、マニュアルを備えて急変や事故発生に速やかに対応出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、昼間想定と夜間想定との避難訓練を実施しており、非常時の避難に対応できるようにしています。</p>	<p>年2回昼夜想定との避難訓練を実施している。例年消防署の協力があるが、今年度はコロナの影響で職員のみで実施している。住民の参加協力を依頼している。備蓄は、3日分の水・レトルト食品・缶詰・御飯を確保しており、防災用品は法人本部にある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を尊重し、言葉掛けや対応等に配慮しています。職員は他の家族や外来者に対して個人情報をお話さない事を徹底しています。	法人での接遇研修を受け、個々の人格の尊重を大切にしている。さん付けでの呼びかけや訪室時の声掛け、排泄介助時のさりげない対応等に配慮し、プライバシー確保を重視している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の意思を尊重して、その方にあった対応を職員間で共有し、入居者が自己決定が出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を排除し、一人ひとりのペースで生活出来る様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日々の服装などご自分で選べる方は選んで頂いています。支援が必要な方は一緒に選び支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけ等一緒に出来る事はして頂いています。個々にあった食事形態や希望のメニューを聞いたりして提供しております。	調理担当職員を配置し、個々の食事形態でミキサー・刻み食等を柔軟に対応している。下ごしらえや片付けを利用者も一緒にしている。誕生日のケーキ・季節の行事食・手作りおやつ等で食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量のチェックを毎日し、把握に努めています。一人ひとりの状態に合わせて食事形態を変え対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後、一人ひとりに声掛けできない方には口腔ケアを行い口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレにて排泄が出来る様支援しています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、個々に応じた声掛け・誘導をしている。布パンツやリハビリパンツを個々の状態に応じて適切に使用している。日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、夜間は睡眠を優先し、自分でトイレに行く以外のトイレ誘導は控えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の状態に合わせてこまめな水分補給や、乳製品等を提供して便秘解消に工夫を凝らしています。薬による排便を実施せざるを得ない方もいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を把握しながら、入浴の意向を聞き対応してします。気分の乗らない方には時間や日をずらす等、無理強いしない声掛けに努めています。	週2回・午前中の入浴を基本に支援しており、希望者には回数や時間は柔軟に対応している。2人介助や同性介助に対応している。皮膚疾患の為、毎日足浴を実施している利用者もいる。入浴を嫌がる場合はタイミングや声掛けを工夫し、本人の状態に合わせて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムを大事にし自由に休養出来るようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用については処方箋を薬箱の近くに置きいつでも見れるようにしています。処方に変更があった際は職員間で情報共有し対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの得意な事、出来る事をして頂く機会を作り楽しみを持って生活される様支援しています。一人ひとりの嗜好品も取り入れ楽しめるように支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナウイルスの影響で外出等が難しいでしたが、外出が可能な場所には出掛ける事ができるよ支援しています。</p>	<p>ホールから中庭に出る事ができる為、天候の良い日は、庭や近隣での散歩をしている。外出の年間計画を立てており、コロナの影響で初詣はできなかったが、フリージア見物や花見に出かけた。できるだけドライブ等で外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全員がお金の管理が出来ない為管理者で預かり管理しています。買い物も難しい為、必要な物が無いとお聞きし購入支援をしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙を書く機会は少ないですが、年賀状の時は支援しながら手書きでお便りしています。電話の方はいつでもできるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を味わって頂けるよう時期にあった飾りつけや花を飾りを工夫しています。	ホールは日当たりが良く、加湿器・エアコンで温湿度調節に配慮し換気にも注意している。ホールから中庭に出て日光浴を楽しむ利用者もいる。室内は、季節の花や飾り付けを行い、季節を感じてもらえるよう工夫している。利用者はホールのソファや椅子、玄関前の椅子等でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士で談笑したりできるようにテレビやソファの位置を工夫しています。独りにならりたい方は時間が作れるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は自宅で使用していた家具等を持ち込んで頂き、居心地よく生活が出来る様にしています。好みの物や模様替えの要望があれば支援しています。	居室入り口の障子戸や障子窓で「家」の雰囲気がある。掃き出し窓になっている。エアコンと洗面台が備えられ、本人が使い慣れたベッドやタンス・テレビ・冷蔵庫・仏壇等の家具を持ち込み、好みの絵や写真を飾って部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況に応じ、ベッドの高さを調節したり、家具等の配置を変えたりして工夫しています。トイレや浴室、居室にも手摺をつけ必要に応じて専門家と相談して調整しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない	

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない